

令和4年度学校評価報告書

自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

【教育活動に関する評価】

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	ZOOMを活用した授業配信はできてきている。長期入院生徒などへの効果的な配信について研修を進めていく。教育的支援が必要な生徒の把握と個に応じた支援について全体で共有し支援を進める	「家庭学習の充実」は積み重ねの習慣の課題であるが、じっくり取り組んで欲しい。 授業が「より学びたい」につながるものになるよう研修を進めて欲しい。 中高の連携が進むよう情報発信の工夫もあると良い。
改善方策	生徒の状況を把握するための基礎学力テストの結果を分析し、共有することで授業改善につなげていく。家庭学習の習慣がない生徒に対して、継続的・自発的に学べる課題等の工夫をおこなう。	
生徒指導	挨拶、遅刻、身だしなみ等含む基本的な生活習慣の確立のため、全職員の共通理解のもと継続して指導したが、特定の生徒の状況に改善が見られなかった 感染対策をした上で、学校祭をはじめ、交通安全・携帯・薬物乱用防止などの講習会を開催できた。	コロナでのマスク生活も原因の一つだと思われるが、基本的な生活習慣は社会での活躍に関わるのでさらに指導を進めて欲しい。 生徒自身に考える機会を与えるという改善の取組はとても大切であり、継続して欲しい
改善方策	基本的な生活習慣について、粘り強く指導をおこなう。コロナ禍で明らかになった行動に伴うリスクや、リスクを減らす方法を生徒自身に考えさせる。18歳成人となり、校則など生徒自身に考える機会を与え、社会に寄与する意識を醸成する。	
進路指導	コロナ禍による制約を受けながらも地元企業の協力を得て、インターンシップや職場見学を始めほぼ全ての行事を実施することができた。また上級学校見学、3年生による進路体験発表、進学希望者を対象とする進学相談会への参加などにより進路意識の向上を図った。進学希望者への模試講習を実施することができた。	充実したキャリア教育が実施できていると感じた。
改善方策	予定されていた行事等は概ね実施することができ、次年度も同様の取組を進めていく。インターンシップは希望者に長期休業中に実施した。就職後のキャリア、人生設計、生活についても考えさせるうえで効果のある取り組みであり、同様の形態で次年度も実施する。勉強マラソンはより効果的な形態（終日→半日など）を考えて実施する。大学進学希望者へ模擬試験の活用などを進めていく。	
健康・安全指導	教育的支援が必要な生徒に対してはサポート委員会を中心に支援をおこなうことができた。保健指導・疾病予防についても、養護教諭のきめ細やかな対応が成果を残した。	健康や安全については、何よりも大切な部分であり、今後もきめ細やかな対応をお願いしたい。
改善方策	教育的支援が必要な生徒に対する支援は状況を共有し、組織的におこなってゆく。自己の健康や安全に対する意識向上は学校でのあらゆる教育活動の中で位置付け、意識醸成を行ってゆく。	

【学校運営に関する評価】

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
信頼される学校づくり 【スクール・ミッションやスクール・ポリシーに基づく学校運営について。保護者・地域からの信頼度向上について。】	スクール・ミッション、スクール・ポリシーについて教育活動での浸透が一定程度進んだ。 PTA活動や探究発表会、授業公開週間等への保護者の参加も多く、教育活動の理解を進めることができた。オンライン配信も活用することができた。 入学後の満足度の結果より、多くの生徒や保護者の満足を得ていることがわかった。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒と保護者の満足度が高く、両者の意見が一致していて良いことだと思う。学校としての成果と感じます。 さらに、満足している部分と、足りない部分を調べ、改善を進めて欲しい。 地域社会との連携について、地域探究活動等、活発に活動している状況が見られ評価したい。次年度以降の継続に期待する。
改善方策	各行事においても育成を目指す資質・能力について明確にした教育活動をおこなう。 探究活動において地域との連携を更に深めていく。 HPやオンラインシステムを効果的に活用して、生徒や保護者へのPRを強化する。 北海道CLASSプロジェクトの取組を充実させ、高校や地域の魅力化の一助とする。	